



# 「共生 共感 創造」

学校HPアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/yokohamayoshida/>

よこはましりつよこはまよしだちゅうがっこうちゅう  
横浜市立横浜吉田中学校長

よね もり つかさ  
米 盛 司

## 国際教室紹介

現在、横浜吉田中学校では全校生徒 411 人のうち、外国につながる生徒は約 46 %です。中国、フィリピン、韓国、タイ、などつながる国と地域は 14 にのぼります。

国際教室では、外国につながる子どもたちが安心して学校生活を送れるように、さまざまな支援をしています。例えば、帰国・来日したばかりの生徒には国語・社会・理科の時間に日本語指導を行っています。さらに、日常会話ではできるだけ学習用語が難しい生徒には教科担任による少人数授業も行っています。放課後ではボランティアの皆さんの協力を得て、国際教室で学習支援教室を開催しています。

このほか、なか国際交流ラウンジでの学習支援など多くの団体や地域の方々の協力により、本校の生徒は支えられています。

## 多文化共生プログラム

横浜吉田中学校では、異なる文化をもつ生徒一人ひとりがお互いを知り合い、助け合い、学び合い、共に生きていくための『多文化共生プログラム』に取り組んでいます。

昨年度は、1年生では、国際理解について「世界がもし150人の村なら・・・」というテーマで学びました。また、中国語と英語で書かれた情報カードをもとに宝の場所を探す「なぞの宝島」というグループワークもしました。わからない言葉を友達に一生懸命伝えようと試行錯誤する姿が見られました。



DST の発表

2年生では、DST（デジタルストーリーテリング）を用いた授業で自分のことをふり返り、自分のことを知ってもらい取組をしました。DSTとは写真と声でつづられた2～3分の映像による表現活動のことです。ここでは「自分の家族」や「好きなこと」「大切なもの」などについて、みんな楽しそうに、そして生きいきと語っていました。



親子進路説明会

3年生では、進路に向けて「国際親子進路説明会」を行いました。第1部では保護者とのコミュニケーションを行い、第2部では卒業生が学校に来て、それぞれ自分の学校の良いところや実際に入学してみても感想などを語ってもらいました。

今年度も、『多文化共生プログラム』を各学年で行う予定です。このプログラムで生徒一人ひとりが、より互いのことを思い合える人になって欲しいと願っています。

最近では、卒業生が地域の活動に参加したり、運営したり、通訳をしたりという頼もしい姿も見られます。近年、新型コロナウイルスの関係で厳しい状況が続いていましたが、そのような状況下でも多くの卒業生が学習の支援やそのほかの支援をしてくれています。中学生にとっては、大きな励みとなっています。

これからも皆さんのお力を借り、将来、共に地域社会を担う子どもたちが、お互いを認め合い、より豊かな学びができるように努めていきたいと思っています。

567組(個別級)は新入生6人を迎え3学年合計18人でスタートしました。最初は緊張気味だった1年生も、今はクラスになじんで元気に生活しています。

昨年度との大きな違いは、2階の5、6組に加えて1階に7組ができたことです。これによって、国語・数学・家庭科が習熟度や課題で分かれて学習することができるようになりました。初めのうちは自分がどちらのクラスで学習するのが戸惑った生徒がいましたが、3か月たってさっと準備して移動できるようになりました。

個別級では、9教科の授業は一般級と同じように行っています。それに加えて将来の自立にむけて「自立・生活」という授業があります。用具を正しく使った掃除の仕方や、体力づくり、進路の学習などを行っています。

学校生活では道徳、総合の授業や行事は文化祭以外、交流級に参加しています。文化祭は567組として参加します。昨年は「From Japan to Korea」と題して1、2年生によるエイサー「島人ぬ宝」と3年生のダンス『Dynamite』を披露しました。今年度も、すてきな演目を企画中です。文化祭で発表した演目をさらに練り上げて3学期の個別級合同学芸会で発表します。

2学期は、10月19日に個別級合同体育祭に参加します。ボール投げ、走り幅跳び、短距離走、中距離走、リレーなどの種目があります。授業でクラウチングスタートを学習したので、その成果が発揮できるのではないかと楽しみです。

11月2日、3日は中区個別級合同宿泊行事があります。中区5校の個別支援級の生徒が5班に分かれて活動します。他校の生徒と協力して活動することで、コミュニケーションの力をつけます。昨年までは八景島シーパラダイスを班ごとに散策して楽しみ、野島青少年研修センターに宿泊しました。今年度は宿泊場所が三浦YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジに変わります。それにもなって主な活動も変わり、ソレイユの丘へのハイキングが予定されています。すでに合同宿泊行事のための準備が始まっていて、6月の5校合同交流会では班メンバーの顔合わせ、班長・副班長決めが行われました。横浜吉田中からは2人が副班長になりました。クラスだけでなく、5校合同交流会でもリーダーシップを発揮してくれることを期待しています。

最後に個別級の生徒が書いた「七夕の願いごと」の一部を紹介します。

- 字が上達できますように。
- ミシンがうまくなりたい。
- 体力をつけたい。
- 歌がうまくなりたいです。
- 部活をもっとがんばりたい。

みんなの願いがかなうようクラスで協力して頑張っていきたいです。